

コンピュータ利用支援ソフトの活用

2002年10月23日(水)
jalps@open.prop.or.jp

1. OS 付属の機能

A. 「コントロールパネル」の「ユーザー補助」

タブ	機能	役割
キーボード	固定キー機能	Shift、Ctrl、Alt キーと他のキーを同時に押す必要がある場合、順次押しでもできるようにします。 例 Ctrl+Alt+Del
	フィルタキー機能	間違ったキー入力を無視したり、キーリピートの間隔を変更できます。
	切り替えキー機能	CapsLock、NumLock などのキーを押したとき音を鳴らします。
サウンド	サウンド表示	警告などでシステム音を鳴らすとき画面やタイトルバーが点滅します。
	サウンド解説	システムが音をならすとき説明を表示します。(アプリケーションが対応している必要あり)
画面	ハイコントラスト	コントラストの高い画面に切り替えることによって、画面が見やすくなります。
マウス	マウスキー機能	テンキーでマウスポインタを操作できます。ダブルクリックやドラッグエンドドロップもできます。
全般	自動リセット	自動的にユーザ補助を無効にする時間を設定します。
	メッセージ	ユーザ補助機能を有効にしたときメッセージを出したり、音を鳴らしたりします。
	シリアルキーデバイス	シリアルキーデバイスを使うことによって、キーボードやマウスの代わりができます。 例 なんでもスイッチボックス

B. 「コントロールパネル」の「マウス」

タブ	機能	役割
ボタン	右利き用 左利き用	マウスの右ボタンと左ボタンの機能の入れ替えができます。
	ダブルクリックの速度	ダブルクリックをするときのクリック間隔を変えれます。
ポインタ	デザイン	マウスポインタをの大きさや形などを変更できます。
動作	ポインタの速度	ポインタの動く速度を変更できます。
	ポインタの軌跡	ポインタの軌跡を表示し、ポインタの位置をわかりやすくします。

注) Windows のバージョンやマウスのドライバーによって設定できる項目は変わります。

C.「コントロールパネル」の「キーボード」

タブ	機能	役割
速度	表示までの待ち時間	キーボードを押しつづけているときに、リピートをはじめるまでの時間を設定します。(ユーザー補助の設定が優先)
	表示の間隔	キーリピートの間隔を長くします。(ユーザー補助の設定が優先)
	カーソルの点滅速度	文字入力時のカーソルの点滅速度を変更できます。

注) マウスで操作する代わりに、キーボードを使って操作できる機能(ショートカットキー)があります。ソフトウェアによって色々なショートカットキーがあります。

D.「コントロールパネル」の「インターネットオプション」「全般」タブ

(IEの「ツールメニュー」からも同じ設定が出来ます。)

ボタン	機能	役割
ユーザー補助	書式設定	Web ページで指定された色やフォントのサイズなどを無視して規定のものにします。
	ユーザースタイルシート	自分で作ったスタイルシートで Web ページを表示します。スタイルシートを用いると文字の大きさやリンクの色・背景色などを変更できます。

注) IE の場合、文字の大きさは「表示メニュー」の「文字の大きさ」で変更できます。また、「インターネットオプション」の「詳細」タブにもユーザー補助の設定があり、拡大鏡を使う場合や画像を表示せずに Alt 属性の文字を表示する場合に役に立ちます。

E.「コントロールパネル」の「画面」

タブ	機能	役割
デザイン	配色	ウィンドウのタイトルバーやデスクトップなどの色や、使用されている文字の大きさなどを変更できます。ハイライト表示もできます。
	指定する部分	アイコンの大きさ・間隔やスクロールバーの幅、メニューのフォントや大きさなどを変えられます。
設定	画面の領域	解像度が変わります。解像度を小さくすることによって、画像や文字が大きくなります。

F.「コントロールパネル」の「ユーザ」

学校などでは、1 台のパソコンを何人もの生徒で使用するの、ある生徒用の設定をすると、他の生徒には使いにくいものになります。そこで、ユーザを作成することによって、設定を切り替えることが出来ます。

G. 「アクセサリ」の「ユーザ補助」

- ・ **ユーザ補助ウィザード** 提示される質問に答えていくだけで、障害にあわせて A・B・C・E の設定ができます。ためす場合は必ずテスト用のユーザを作成してから実行するほうがよいです。元の設定になかなか戻せなくなることがあります。
- ・ **拡大鏡** 画面の一部を拡大します。倍率も変更できます。文章を入力するに従って、拡大する部分も変わってきます。
- ・ **スクリーンキーボード** (Win2k) ソフトウェアキーボード (ATOK のクリックパレットのほうが、かな表示ができるなど使いやすい。)
- ・ **ナレータ** (Win2k)
メニュー・画面の表示項目などを読み上げます。そのまま設定では英語しかしゃべりません。IBM の音声合成エンジンを使うことによって日本語も読み上げ可能です。
(参照 <http://nacelle.cug.net/customize/05012.html>)
参考 マイクロソフト製品のアクセシブル ドキュメント
<http://www.microsoft.com/japan/enable/products/doc.asp>

2. フリーウェア

- ・ **ハーティラーダー** スキャン方式による文字入力・メール送受信などの機能があります。そのソフト内でのみスクリーンキーボードは使えます。語彙予測機能があります。読み上げは市販のソフトが必要です。フリー
<http://www.try-net.or.jp/~takaki/hearty/>
- ・ **Pete** (ピート) スキャン方式による文字入力。Windows の操作や一般のアプリケーションソフトの操作ができます。語彙予測機能もあります。各々のアプリケーション用のキーボードを作成できます。音声読み上げ機能はありません。登録必要
<http://www.a-brain.com/project/PeteHP/index.html>
- ・ **パッド de マウス** ゲームパッドやジョイスティックだけで、Windows の操作やアプリケーションソフトの操作ができます。また、スキャンモードもあるので、一つのボタンだけでも操作できます。文字入力は付属のスクリーンキーボードからできます。
<http://www.eva.hi-ho.ne.jp/izumiya/padmk.html>
- ・ **ALTAIR** (アルテア) 視覚障害者に対応したテキストブラウザおよびテキストエディタ。ワードや一太郎・PDF ファイルなどをテキストに変換して読み上げる。漢字変換時に詳細読みもしてくれる。
<http://www.normanet.ne.jp/~software/winal/>

3. 市販の障害者用ソフト・入力機器などを使用できる施設

- ・ **障害者 IT サポートセンター** 主に高知システム開発のソフトがあります。視覚障害の人向け。専任の人やパソボラもいます。
<http://www.daishinren.or.jp/sokusin/itsupport.html>
- ・ **ビッグアイ** 大阪では障害者用の情報機器・ソフトとももっとも豊富に展示してあります。
<http://www.big-i.jp/>